



【宮古盛岡横断道路（宮古箱石道路）】

かわいはいしちく かんつうしき  
**川井箱石地区で最初のトンネル貫通式を開催**

～ 12 月 10 日（日）に（仮称）新箱石トンネルの貫通式を開催 ～

宮古箱石道路（復興支援道路）は、震災復興のリーディングプロジェクトとして平成 32 年度の完成を目指し、従来にないスピードで事業を進めているところです。

このたび、宮古箱石道路の川井箱石工区で初めての貫通となる「（仮称）新箱石（しんはいし）トンネル（延長 1,493m）」の貫通式を下記のとおり開催いたしますのでお知らせします。

貫通式では、トンネルの貫通を祝って「箱石鹿踊り保存会」の方に、箱石地区に伝わる無形民俗文化財である「箱石鹿踊り」を披露して頂きます。

- 日 時 : 平成 29 年 12 月 10 日（日）10:00 から（約 1 時間 30 分）
- 場 所 : 宮古市箱石地内 トンネル坑内・・・別紙－1（会場案内図）参照
- 主 催 : （施工者）株式会社 安藤・間
- 式典内容 : 別紙－2（貫通式概要）参照
- 事業概要 : 別紙－3（工事概要）参照
- 工事概要 : 別紙－4（事業概要）参照
- その他 : 会場ではヘルメットの着用をお願いします。  
 （ヘルメットは当日、主催者側で準備します。）  
 雨天の場合も実施します。

《 発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者クラブ 》

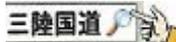
問い合わせ先

【今回の式典や施工内容に関する問い合わせ】

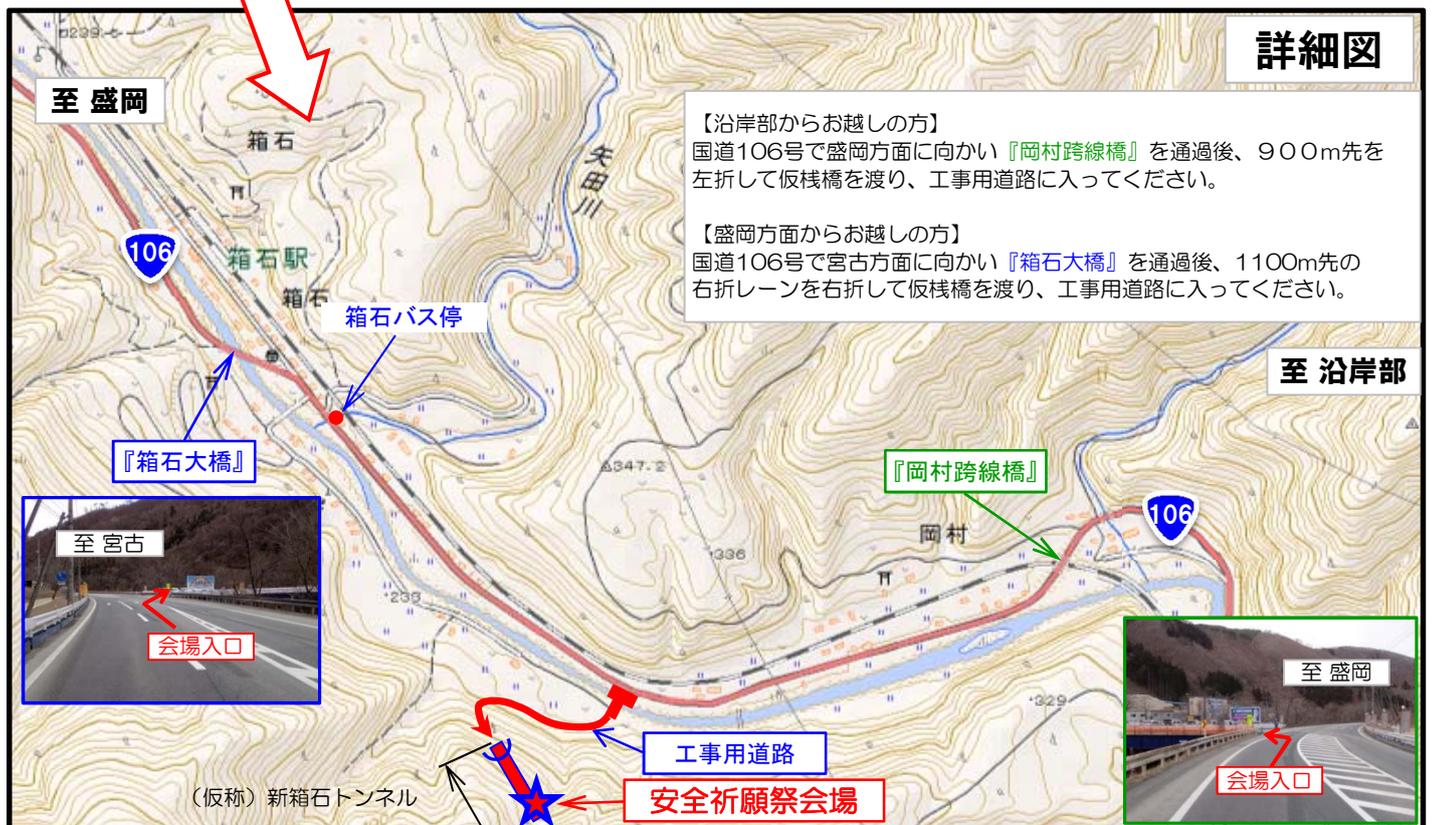
- 国道 106 号 箱石地区道路工事  
 株式会社 安藤・間 新箱石トンネル作業所  
 〒028-2304 宮古市箱石第 4 地割 27  
 所 長 ササキテルオ 佐々木 照夫 電話 0193-85-1525

【事業に関する問い合わせ】

- 国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所  
 副 所 長 ヒラオカヒロシ 平岡 弘志（内線 204）電話 0193-62-1711（代表）  
 工務第一課 カワカミシンイチ 建設監督官 河上 伸一（内線 504）

（復興支援道路・宮古盛岡横断道路については、 で検索できます。）

【国道106号 箱石地区道路工事 貫通式 会場案内図】



国道106号 箱石地区道路工事  
 安藤ハザマ 新箱石トンネル作業所  
 〒028-2304 岩手県宮古市箱石第4地割7  
 TEL:0193-85-1525 FAX:0193-74-2535

## (仮称) 新箱石トンネル 貫通式概要 (案)

工事名称 : 国道106号 箱石地区道路工事

日 時 : 平成29年12月10日(日) 午前10時00分から

場 所 : 岩手県宮古市箱石 地内 トンネル坑内

発注者 : 国土交通省 東北地方整備局

主催者 : 施工者 株式会社安藤・間 東北支店

## 式典内容 (案)

9:00 ~

受付開始

10:00 ~

貫通式

1. 開 式
2. 貫通発破準備完了報告
3. 貫通発破
4. 貫通確認
5. 貫通報告  
( 貫 通 点 へ 移 動 )
6. 貫通点清め
7. 通り初め
8. 樽神輿入場
9. 事業者挨拶
10. 来賓挨拶
11. 鏡開き
12. 乾 杯
13. 箱石鹿踊り (箱石鹿踊り保存会)
14. 施工者謝辞
15. 万歳三唱
16. 閉 式

11:30 ~

退場

- 東日本大震災では、津波被害により幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
- 宮古箱石道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

## ▼三陸沿岸地域への緊急輸送道路

岩手県の緊急支援物資物流拠点（滝沢市）

国道106号 救援支援物資輸送612回

3月12日～4月末：県トラック協会契約分



- ⓧ : 震災時の津波による通行止め箇所
- : 震災時の津波浸水箇所

## ▼津波により寸断された国道

写真① 宮古市愛宕交差点



写真② 宮古市磯鶏地区



# 迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古市内国道106号沿線地域の管外搬送は、全て盛岡市内の高度医療施設へ救急搬送
- 宮古箱石道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

▼ 国道106号は線形不良箇所（急カーブ等）が多い

**全面通行止（過去10年間）**

回数：22回

合計時間：111時間 資料：岩手県（H17-H26）



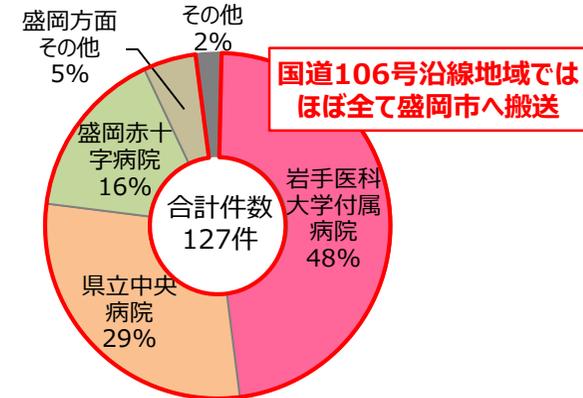
宮古～箱石区間の国道106号

急カーブ箇所  
(R<150m)  
14箇所

宮古箱石道路

急カーブ箇所  
(R<150m)  
0箇所

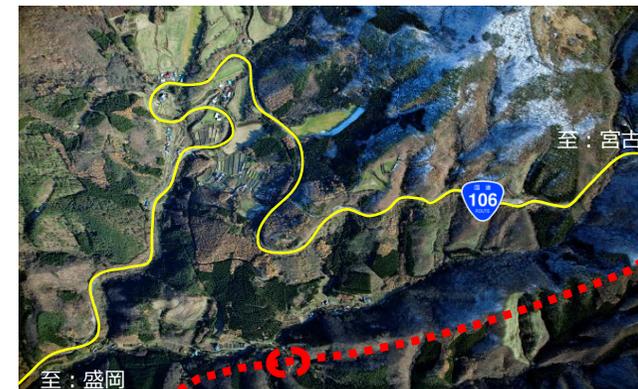
▼ 宮古市内国道106号沿線地域の宮古地区外への搬送状況（H28）



国道106号沿線地域では  
ほぼ全て盛岡市へ搬送

※ 国道106号沿線地域  
宮古消防署・新里分署・川井分署  
資料：宮古地区広域行政組合  
消防本部搬送実績

▼ 区界地区の急カーブ状況



# 新たな観光ルート誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

## 内陸の観光地



八幡平  
(八幡平市入込客数：  
175万人/年)



遠野盆地  
(遠野市入込客数：  
168万人/年)



展勝地  
(北上市入込客数：  
133万人/年)

世界遺産 平泉  
(平泉町入込客数195万人/年)



中尊寺



毛越寺



## 三陸復興国立公園

### 浄土ヶ浜(宮古市)



(宮古市入込客数：122万人/年)

### 船越半島大釜崎(山田町)



(山田町入込客数：23万人/年)

### 基石海岸(大船渡市)



(大船渡市入込客数：100万人/年)

## 三陸ジオパーク

### 小袖海岸(久慈市)



(久慈市入込客数：79万人/年)

### 北山崎(田野畑村)



(田野畑村入込客数：55万人/年)

### 龍泉洞(岩泉町)



(岩泉町入込客数：43万人/年)

※資料：岩手県観光統計(平成27年、平成28年)

# フェリー就航で北海道との広域交流が活性化

- 宮古港～室蘭港間で、新たなフェリー航路が開設(岩手県初の運航)。
- 三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の整備による、県内各地や仙台圏、首都圏とのアクセス性向上等が航路選定の理由。
- 北海道と東北、首都圏間の交流・物流を活発化させ、東北の復興の加速化に寄与。

## ■復興道路・復興支援道路の整備とフェリー航路

▼フェリー航路図



▼宮古港周辺の道路整備状況



▼平成27年11月に宮古港でフェリー乗船会が開催され、カーフェリー「シルバークイーン」が寄港



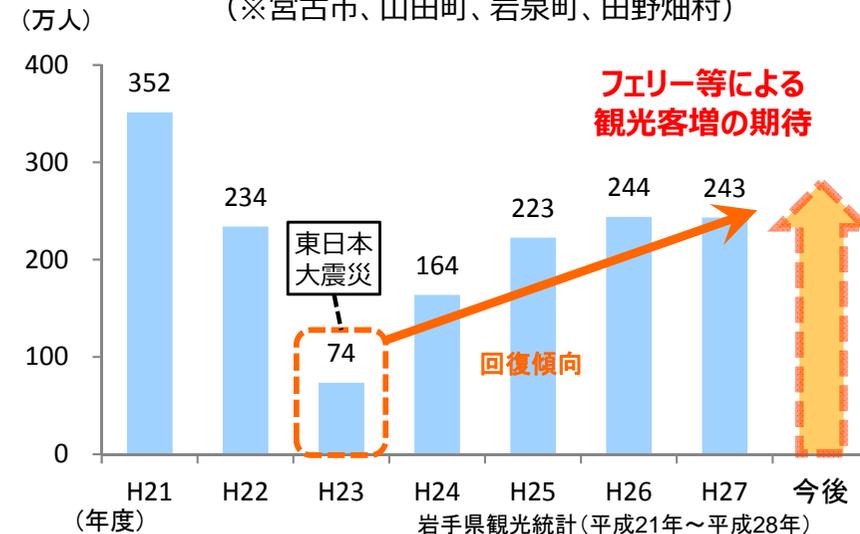
## ▼航路概要

(川崎近海汽船株式会社プレスリリースより抜粋)

- 開設時期 **平成30年6月22日決定 (H29.9.1発表)**
- 運行計画 1日1往復、毎日運行
- 選定理由
  - ①急ピッチで進められている**復興道路等の早期開通により宮古港から県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上**
  - ②トラックドライバーの休憩時間8時間を確保できる最適な航路
  - ③両港とも近隣の**観光資源が豊富で旅客需要に期待**
  - ④自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、**トラック事業者等からの期待も大きい。**

## ▼観光入込客数の推移と期待

(※宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村)





# 国道106号 箱石地区道路工事

復興支援道路 宮古盛岡横断道路



**【工事概要】**

工事件名: 国道106号 箱石地区道路工事  
 工事場所: 岩手県宮古市川井  
 ~宮古市箱石 地内  
 工期: 平成26年12月17日  
 ~平成30年2月28日  
 発注者: 国土交通省 東北地方整備局  
 受注者: 株式会社 安藤・間

**【工事内容】**

(仮称)新箱石トンネル  
 延長 1,493m(内空断面 約88m)  
 (仮称)上片巣橋  
 橋台 1基(A1)、橋脚 2基(P1、P2)  
 (仮称)新箱石大橋  
 橋脚 1基(P1)  
 仮棧橋 2基

